

記念すべき令和元年、名古屋で6月に開催された第118回日本皮膚科学会総会に出席された読者は数多いと思う。11会場にて、教育講演、一般演題、実践道場、モーニング・ランチョン・イブニングセミナーが目白押しで、この時間帯は何を勉強しようかと、プログラムをみながら予定を立てた先生は私だけではないだろう。名古屋国際会議場は動線がわかりやすく、移動しやすい。目指す会場が混雑しており、立ち見を避け専門外の講演を聞いたが、日常診療に役立つ内容を聞いた。デジタルポスター閲覧ルームでは、興味ある報告をじっくり読めた。通常のポスター会場に比べて、他人に気配りをする必要がない。驚いたのは企業展示の広さと、ブースの多さである。とくに、現在大きく展開中のバイオメーカー関連会社が軒を並べ、メインホールの華やかさや派手さを演出していた。パラダイムシフトといっても過言ではない最近のバイオ治療薬は、素晴らしい有用性を患者サイドにもたらし、われわれ臨床医にとっても溜飲の下がる画期的なものといえる。

一昔前は中小の全国レベルの学会を主催しても、なかなか企業の協力が得られず苦勞したことを思い出す。今後、新薬の発売が続くことが予想されている。皮膚科学の進歩は目覚ましく、その流れを止めることなく、ますます皮膚科学会の繁栄や存在感を世に示すことを願ってやまない。

今月号のテーマは膿疱をきたす疾患である。難病指定されている膿疱性乾癬、掌蹠膿疱症や好中球疾患である化膿性汗腺炎は、いずれも慢性に経過する難治性の疾患であるが、最近ではこれらに奏効するバイオ製剤の適用拡大により、疾患をコントロールできるようになった。これ以外に、角層下膿疱症や膿疱を伴うStill病などの報告がある。昨今の膿疱をきたす疾患をご一読いただき、是非とも明日からの診療に役立てていただきたい。

(H.M.)

特集 爪および爪周辺の疾患(仮)

◆editorial

看過と紹介遅延

向井 秀樹

◆総説

爪の腫瘍と薬剤性障害

吉川 周佐

◆検査

爪疾患 病理組織のみかた

田村 敦志, 長谷川道子

◆臨床例

反復性不完全爪甲脱落症

東 禹彦

抗セントロメア抗体陽性の全身性強皮症を合併した爪扁平苔癬

遠藤 未希ほか

過敏性腸症候群を合併したNail-Patella症候群

古川 史奈ほか

抗真菌剤の外用療法が奏効したCandida guilliermondiiによる

カンジダ性爪囲爪炎

高橋 秀典ほか

Laugier-Hunziker-Baran症候群

小笹 美蘭ほか

打撲を契機に発症した大型のAcquired Periungual

Fibrokeratoma

武原 康平, 野村 佳弘

右母趾に生じたHPV52型陽性のBowen病

豊島 進ほか

エフィナコナゾール爪外用液で治療したFusarium oxysporumに

よる爪無色菌糸症

廣瀬 美希ほか

pachyonychia congenita早期より観察しえた先天性厚硬爪甲症

矢ヶ崎晶子

爪下外骨腫, 典型的な症例

林 亜矢子, 松本貴志子

抗セントロメア抗体が陽性であった右2指に生じた

皮膚石灰沈着症

鈴木茉莉恵ほか

嚢胞状リンパ節転移を伴った爪床の悪性青色母斑

東儀那津子ほか

陥入爪に伴う爪囲肉芽の悪化要因について

佐藤 隆亮ほか

爪甲色素線条を伴った爪部Bowen病

戸澤 貴久ほか

爪部扁平上皮癌

武田浩一郎ほか

母指爪下外骨腫

川崎ゆりかほか

◆皮心伝心

森実 真

◆私の視点

青山 裕美

◆学会ハイライト

第35回日本皮膚悪性腫瘍学会

国定 充

◆診察室の四季

斉藤 隆三

◆皮膚科のトリビア

浅井 俊弥

◆声(質疑・応答を歓迎します)

皮膚病診療 Vol. 41, No.8(2019)

令和元年7月25日印刷

令和元年8月1日発行

1部定価2,800円(本体)+税 送料別

年ぎめ予約購読料39,000円(本体)+税

発売所/丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 斉藤 隆三

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-3

ワールドインポートマートビル8階

電話: 03-5979-1400(代)

振替口座: 00190-0-36746

印刷所 株式会社 エイチケイ グラフィックス

ご購入ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2019年

・JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。